

# 「本音の言えない子どもたちに寄り添って」

～不登校、発達障害、ひきこもりの子どもたち、若者の傍で～

特定非営利活動法人 ゆずりは学園 学園長 沓名和子

## 講師プロフィール



一宮市、蒲郡市その後、田原市内の公立小学校、中学校に教師として勤務。小学校1年生から中学3年生までの全学年の担任経験を持つ。文部科学省の通級指導教室を担当した時に不登校、教室に入り辛い生徒たちと出会う。

30年間の教師生活を早期退職して、学校に行けない子ども達の為に2001年自宅にてフリースクールを設立。1年後、人の目やチャイムの音などに気を使う子供たちのために、海と森の環境を持つ現在の地にフリースクールを移転。

2005年通信制高校サポート校を開始。愛知県引きこもり支援団体に入り、引きこもりの青年支援を始める。フリースクール日記、もう一つの家族「ドアのない部屋から」を出版。2007年フリースクール、通信制高校の様子が全国テレビ放送される。

2008年、通信制大学サテライト校開校。NPO法人ゆずりは学園と名称を改める。2010年渥美半島の里海を美しくする会を設立。2011年田原しみん震災支援ネット結成。2013年「異空間のドアを開けて」発達障害の対応マニュアルを出版。ゆずりは学園豊川稲荷校を開校。

## ゆずりは学園の環境（フリースクール・通信制高校・通信制大学・若者就労支援）

標高223メートルのゆずりはの森には、ツリーハウス、レストラン窯、ロッククライミングの出来る17メートル級の大きな岩が7つある。

グラウンドには、バスケット場、サッカー場がある。宿泊施設の「シェモアゆずりは」には偶数月には全国からボランティアの大学生、社会人が宿泊して子供たちの居場所作りをしている。

## 海外展開

日本では生き辛さを訴える子供たち、青年達のために、海外での研修体験プログラムを企画。フィリピンのダバオ医科大学との協力連携で、ゆずりは学園ダバオ校を設立予定。支援、協力団体を募集中

## 東日本大震災支援活動

2011年3月18日「田原しみん震災支援ネット」を設立。箱庭セットを福島市内の46の幼稚園、保育園に送る。その後も毎月1~2回福島市内の24の仮設住宅(約7,000人)に野菜・果物・米などを送り、今年2015年3月15日も10tトラックで東北へ支援物資を送る。

2012年4月、福島県南相馬市「福浦小学校」卒業式・修学旅行をゆずりは学園で行う。  
(NHKにて放映)

活動状況は、中日新聞、東愛知新聞、東日新聞、朝日新聞等で掲載されている。

## 講演活動(2011年以降 抜粋)

平成23(2011)年

- 10月12日 愛知県芸術文化センター 愛知県人権講演会(名古屋市)
- 10月19日 愛知大学 講義(豊橋市)
- 11月24日 安保ホール 講演(名古屋市)

平成24(2012)年

- 12月3日 津島市人権講演会(津島市)

平成25(2013)年

- 2月13日 福井県人権講演会(福井市)
- 8月21日 東三河地区 人権教育指導者研修会(豊橋市)
- 11月10日 あま市人権講演(あま市)
- 11月11日 田原市教育委員会 講演 田原市青少年健全会議(田原市)
- 11月21日 国際ソロプチミスト(豊橋市)
- 12月11日 名古屋ウィルあいち 子ども・若者支援ネットワーク(名古屋市)

平成27(2015)年

- 3月10日 豊川商工会議所 豊川宝飯ロータリークラブ(豊川市)
- 5月22日 名古屋キワニスクラブ(名古屋市)

## 書籍

2006年 「もうひとつの家族 ドアのない部屋から」(本の泉社)1,500円

なぜ学校に行けないか、家族・子どもたちの本音と向き合った6年間

2013年2月 「異空間のドアを開けて」(発達障害対応マニュアル)2,000円

不登校、ひきこもり、いじめ、家族、発達障害等の対応・解決マニュアル  
ご希望の方は下記「E-mail または FAX」で「氏名・住所・連絡先を記入の上」お送り下さい。  
(送料無料、振込手数料はご負担願います)

特定非営利活動法人 ゆずりは学園

E-mail : [kutsuna\\_ike@yahoo.co.jp](mailto:kutsuna_ike@yahoo.co.jp) FAX 0531-22-7761 TEL 0531-22-3515